

美容皮膚科医に聞く！ キレイの最前線

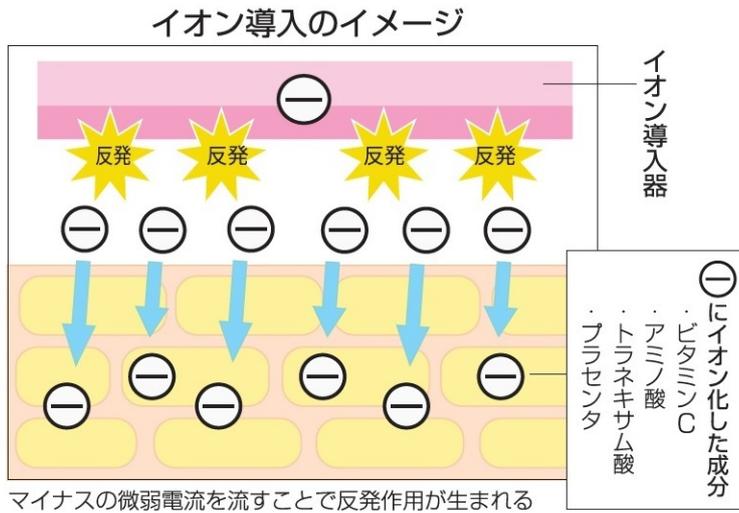


今回は、美容皮膚科の入門といえます。そのため、一部門ともいえる治療をご紹介します。化学物質や経皮吸収型の「イオン導入」と呼ばれるものです。化粧品は、皮膚の角質層にヒトの皮膚にはバリアーとどまってしまう、その奥機能があり、外部からの異にはなかなか届かないので物や毒を防ぐ役割を果たします。また、お風呂上がりの

「イオン導入」治療

美容成分 肌の奥まで

6



角質がふやけている状態では、美容成分は真皮まで入っていきません。イオン導入は、微弱な電流を当てて角質層のバリアー機能を一時的に弱め、そのままでは浸透しにくい美容成分を肌の奥深く（真皮層）まで届かせる方法です。その原理は、電気の反発、つまりマイナス（-）に帯電した美容成分が、電流のマイナス（-）と反発して、肌の奥に入っていくというものです。

マイナスに帯電し、分量が小さいものでイオン導入に適している成分には、ビタミンC誘導体やアミノ酸、トランスキサム酸、プラセンタ（胎盤エキス）などがあります。イオン導入は、継続することによって、お肌のアンチエイジングや小じわの改善、ニキビやニキビ跡の改善、くすみやクマ、肝斑の改善などの効果が期待されます。

クリニックや使用する器械によって違いがありますが、簡便なイオン導入は2千円程度からできます。

（向田公美子＝藤島高出身、京都市在住）